

ゼミブログ更新しています。

先月 HP をリニューアルしました。それとあわせて、ブログももっと更新していこう！ということで、講師が代わるがわる担当しています。今回はその中の一部を掲載します。よろしければこれからもどんだんのぞいてください。国分・隼人教育ゼミナール <http://kokubu-hayato-zemi.com/>

ちよいと笠沙まで

先週末、南九州市にある「笠沙恵比寿」という宿泊施設に泊してきました。坊津方面に行ったことがなかったので、新鮮な気持ちで向かいました。『海を学ぶ、海を遊ぶ、海の冒険館』というコンセプトで 2000 年 7 月にオープンした施設で、九州新幹線やいぶたま号などのデザイナーで有名な水戸岡鋭治さんが設計しました。ななつ星、はやとの風、リニューアルされた隼人駅も彼が手がけています。漁業で栄えた笠沙町でその自然を生かした観光受け入れ施設として建てられただけあって、宿泊施設の並びに博物館も併設されていました。体験モノとしても、野間岳のトレッキングツアーやシーカヤックや船釣り体験、サンセットクルーズなどイロイロ自然を満喫できる企画があるようです。あいにくの雨で景色を堪能することができませんでしたが、美味しい料理とお酒をいただき、疲れを癒すことができました。

さて、坊津といえば鑑真が日本に上陸した地で有名です。百済から 538 年（ご参拝）に伝えた仏教は、奈良時代に律令国家体制と結びついて発展しました。しかし、仏教修行の基本たる戒律を経ない僧が増えたため、混乱がありました。唐の高僧・鑑真は、朝廷からの招請を受け、仏教の正しい授戒の実行、戒律知識を普及するために、5 回の渡航に失敗し視力を失いましたが、6 回目にして遂に日本の地を踏み踏みました。その後、平城京に迎えられて奈良の仏教の興隆に専念しました。奈良時代の日本文化に大きな影響を与えた偉人なのです。

では問題です。鑑真が建立したお寺は・・・？

(四本 7 月 3 日)



葦簀 (よしず)

そろそろ暑い夏がやってきます。ちらほらと軒先によしずを立て掛ける家々が見られる季節になりました。直射日光を遮り涼風を通すよしず、すだれそして緑のカーテン。これら夏の風物が室温を 2℃～3℃ 下げるとなると、それはもう省エネ対策の大きな一助となるわけです。そして若干古めかしい感じはあるものの、「夏ですね」という季節感と自然のものが持つ落ち着いた雰囲気を出してくれるので精神的にも良い感じがします。大いに利用しない手はありません。毎夏、我が塾の省エネにも大きく貢献してくれています。

さてと、ポテト、今回はこの「よしず」についてのお話です。漢字では「葦簀」と書きます。葦(あし)で作られた簀(す)。簀は、篠竹や葦などを編んだ筵(むしろ)のこと。葦って、川原でよく見かける、竹を軟弱にしたような、そして群生しているアレですね。「人間は考える葦である」と言ったのはかの有名なパスカルです。「人間は一本の葦のようにひ弱だけれども、考える能力を持っている存在である」と。話を本題に戻しましょう。なぜ葦でできているのに「あしず」ではなく「よしず」なのか。

皆さんは、「忌み言葉」(いみことば)って聞いたことがありますか。「ひどく嫌って避ける言葉」のことです。不吉なもの、縁起の悪いものは、できれば自分の身から遠ざけたいと思うのが世の常です。例えば、「死」を連想させる数字の「4」が、病室の番号には忌み嫌われて使われないことが多いのもその一つです。葦も「善し悪し」(よしあし)の悪しを連想させてしまいますので、思い切って「よし、よし」にしちゃおうということだったのでしょか！？生活の知恵というユーモアさえ感じますね。もし、よしずを売る人が、「あしずはいらんかね」と叫んで商売したとしたらどうでしょう。悪いものを売られてしまうようで購買意欲が湧きませんよね。それを「よしず」にかえてしまうだけで、良いものを買って幸運までが転がり込んできそうな気がする、ということになるかもしれません。

まだいつとき梅雨が続きそうです。よしずの似合う晴れた青空が待ち遠しいですね。ミン、ミン、ミン。

(メーデーこやぎ 6 月 25 日)

オススメです

梅雨明けはまだ先ようですが、時折雲間からのぞく青い空にワクワクしてしまいます。はやく、おもいきり洗濯がしたい！

さて、先日一冊の本を読み終えました。あっ！という間に。短編集なのでとっても読みやすいんです。どの物語も展開が二転三転するので、本当に結末が予測できませんでした。気になっておりに挟む気になれない。さらに登場人物たちの心情は、猟奇的なんです(ミステリーなので)、どこか人間らしさもあって少し納得してしまうところも。読み終わったあとにゾクゾクとして、室内の温度が少し下がったような気がしました。余韻に浸れる一冊です。

その作品とは・・・赤川次郎の『記念写真』です。三毛猫シリーズで有名な作家さんですね。私は、赤川次郎さんはこの作品が初めて。ピギナーの私があればこれ言うとなんか怒られてしまいますね。これをきっかけにほかの作品も読んでみたいになりました。八木文庫にあるかな～♪

(福元(*´▽`) 6 月 30 日)

やっと咲きました

「好きな花はなんですか？」そう聞かれたときに咄嗟に出てくる花はありますか？私は、『紫陽花(アジサイ)』と答えます。家を新築した時に、どうしても庭にアジサイを植えたくて、実家のアジサイをさし木して、庭に移植しました。そのアジサイが、4 年目にしてやっと花を咲かせてくれました。



アジサイの花言葉は『移り気』など、花の色が土壌の成分で変わることからこのようなイメージの花言葉が多いようです。でも、この色の変化がアジサイの魅力です。

ここで豆知識アジサイは『草』ではなく『木』ですから、低木の落葉樹。花びらに見える部分は『萼(がく)』。花の色は、土壌の酸性度(pH)によって変わり、一般に“酸性ならば青” “アルカリ性ならば赤” になりやすいらしいです。理由は、土壌が酸性であれば土壌中の成分にアルミニウムイオンが溶け出しそれを根から吸収すると青くなり、アルカリ性だとアルミニウムが溶け出さず、吸収されないので赤くなるとのこと。肥料で土壌の酸性度を調整して、好きな色にすることもできるみたいです。

私が植えたアジサイは、何色が出るか楽しみだったので土に何も加えませんでした。好きな色は『淡い紫』そう！庭に咲いてくれたアジサイの色が理想の色でした。うれしくて、文章が長くなっちゃいました。

(内村 6 月 14 日)

自分に挑戦！公開期末テスト対策実施！

まさに梅雨！と言わんばかりの週末の大雨でした。中学生の皆さん、この天気はきっと神様が、「期末テストに向けて外出せずに、家で勉強をきなさい。」と降らせた雨だったんですよ。(たぶん)

さて、塾では 6 月 21 日(土)・22 日(日)の二日間で、在塾生と外部生を対象に公開テスト対策を行いました。朝 9:00～16:20 まで、二日間で 12 時間の勉強をしました。テスト範囲の基本の確認から応用問題まで教科別(国、数、英、社、理)でたっぷり時間をかけて勉強しました。



とても長い時間でしたが、最後までしっかりと取り組んでいました。最後の「終わったあああ！疲れたあ～。」という言葉に実感がこもっていました。テストまでの残り数日、間違えた問題やまだ覚えきいていない語句をチェックして『これだけ勉強したんだから大丈夫！』と自分を信じてテストに臨んで下さい。

(6 月 23 日のブログより)

結果が出ました。「伸びたあ！」と言う人もいれば、「う～ん？」と首をかしげる人もいます。伸び悩んでいる人はたぶん自分で原因が分かっているはず。さあ、落ち込んでいる場合ではありません。「失敗は成功のもと」と言います。しっかり反省をしてこの夏「挽回するぞ！」という強い気持ちで頑張りましょう。

Information

○漢字検定 7 月 11 日(金) 19:30～20:30

小学生と中学 1,2 年生(他学年は希望者)を対象とした漢字検定を実施します。学年の枠にとらわれず、自分に合わせた受験級を設定できます。「自分の一番」を目指しましょう。

○夏期集中ゼミ～昨日までの自分を越えよう～

7 月 22 日(火)から夏休みの講座が始まります。小学生と中学 1,2 年生は、有意義な夏休みにするために、勉強にもしっかり計画を立てて取り組みましょう。中学 3 年生は受験勉強を始めるチャンス。「夏休み明けにどんな自分になっていたいか」をはっきりとイメージして臨みましょう。日程や時間などの詳細につきましては別紙にてお知らせします。